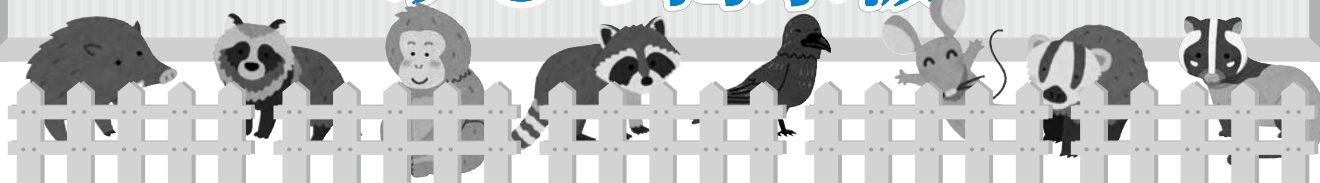


けもの掲示版



お盆の帰省時に注意！ クマの生態を知り、出会わない対策をしよう！



クマの生態を知ろう

令和7年度の秋に加えて、令和8年度の春以降も福島県内でクマの出没が多く報告され、町内でも目撃情報が多くありました。クマの話題が普段よりもニュースで取り上げられたり、目撃情報が多くなったりしていますが、時期ごとの出没傾向はクマの生態から説明できることも多くあります。まずはクマの生態から人との接触が増える要因を考えてみましょう。

	春	夏	秋	冬
エサ	草本類・山菜	昆虫・果実類・草本類	①ブナ・ミズナラなどのドングリ ②柿やクリ	
生態	・子グマが親離れし、人里などの出没が増加 ・繁殖期にオスがメスを探すため、出生地の山から離れた場所に出没しやすい	8月ごろから季節の移り変わりで、エサ資源が減りやすく、エサを探し回るようになる	冬ごもり前に脂肪を蓄えるため採食が活発になる	冬ごもり ※食べられるエサがあれば出没し続ける
接触が増える要因	山菜採りや登山など	夏野菜や生ごみなどによる誘引	・放任果樹による誘引 ※特にドングリの凶作時に顕著 ・キノコ採りや登山など	夏・秋の誘引による定着

時期ごとに会いやすい場所を知ろう

次に季節ごとに、クマに遭いやすい場所を比較してみましょう。

	春	夏	秋	冬
山間部	◎	○	◎	—
人 里	△	◎	△ ドングリ凶作時は◎	—
市街地	—	—	— ドングリ凶作時は○	— ドングリ凶作時は○

人 里：山裾の農地や集落、お墓など人が活動をする場所

市街地：山間部と隣接がないところで人が活動をする場所（例 道の駅や浪江駅周辺など）

※その年の気候などにより、変動することがあります。

出会わないための対策を知ろう

自然の環境やクマの生態に由来する接触は、私たちだけで解決できる問題ではありませんが、人が対策をすることで減らせる接触はいくつかあります。できるところから実践していきましょう。

山間部での行動のポイント

- ・音を出す
- ・見通しの悪い場所には注意して移動する
- ・単独行動を避ける



POINT クマは臆病な動物で、人の気配を感じるとやぶなどに身を隠しますが、人が気づかずに近づくとうるいて襲うことがあります。

人里に寄せつけないポイント

- ・田畑には電気柵を設置（20cm、40cm、60cmの3段）
- ・収穫物、残渣を屋外（食べられる場所）に置かない
- ・お墓のお供え物を残さない



POINT 人もクマも利用する場所と認識し、クマが食べられる場所にエサとなるものを置かないことが重要です。

市街地のポイント

- ・果樹の実を残さない
- ・生ごみの適切な管理



POINT 基本は人里の対策と同じ。ドングリの凶作時はおながすいているため、河川などを使って市街地までエサを探しに来ます。

今年度は一部の地域で河川周辺の環境整備の実施を予定しています。

クマ鈴の貸し出し、追い払い花火を配布

町ではクマ鈴の貸し出しと追い払い花火の配布を行っています。町内での活動時やお墓参りの際に必要な人はお申し出ください。

クマ鈴（貸し出し）

期間：最大2週間まで
場所：農林水産課・津島支所
※町外での使用はできません。

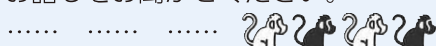
追い払い花火（配布）

場所：農林水産課・津島支所・浪江町防災交流センター
※クマまたはサルの追い払い以外の用途では使用できません。



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページでもご覧いただけます